

試験研究成果普及情報

部門	野菜	対象	普及
課題名：ハウス春どりホウレンソウの優良品種（第70回千葉県野菜品種審査会）			
〔要約〕ホウレンソウ「ミノタウロス」、「天下布武」、「ダイヤ交配エクストリーム」、「グリーンアップ」、「シューター」、「雷電13」及び「ライトアップ」は、ハウス春どり栽培の優良品種である。			
キーワード [※] ホウレンソウ、ハウス栽培、品種審査会			
実施機関名	主 査	農林総合研究センター 野菜研究室	
	協力機関	日本種苗協会千葉県支部、（公社）千葉県園芸協会、生産振興課	
実施期間	2022年度		

〔目的及び背景〕

千葉県のホウレンソウは、令和2年産で産出額71億円と全国第3位の品目であり、東葛飾地域など都市近郊を始めとして周年出荷されている。ホウレンソウの品種に求められる特性は、低温伸張性や抽台性、在圃性等、作型ごとに異なっており、産地からは作型ごとに望まれる特性を持つ優良品種の選定が求められている。そこで、12月播種のパイプハウス栽培による春どりホウレンソウを対象に、種苗会社より出品された品種を栽培して発芽の安定性、収量性、外観品質等に優れ、千葉県に適した優良品種を選定する。

なお、本試験は第70回千葉県野菜品種審査会（ホウレンソウの部）として実施する。

〔成果内容〕

- 1 第70回千葉県野菜品種審査会において審査された22品種のうち、入賞となったのは「ミノタウロス」（住化農業資材(株)）、「天下布武」（小林種苗(株)）、「ダイヤ交配エクストリーム」（トキタ種苗(株)）、「グリーンアップ」（(株)武蔵野種苗園）、「シューター」（カネコ種苗(株)）、「雷電13」（ナント種苗(株)）及び「ライトアップ」（(株)武蔵野種苗園）の7品種である（表1、写真1）。
- 2 播種14日後における圃場での苗立率は、いずれの入賞品種も8割以上で良好である（表2）。
- 3 入賞品種はいずれも葉長が短くコンパクトな草姿であり、葉身部のSPAD値が高く、葉色は市場性の高い濃緑である。また、1位の「ミノタウロス」は、葉数が多くボリューム感があり、1株重が重く、出品品種の中では収量性も優れている（表3、表4）。
- 4 栽培期間中、気温は高めに推移し、特に収穫直前の3月上旬は平年を大きく上回る気温となったため（図1、図2）、慣行品種「ピンドン」（(株)サカタのタネ）を含め、生育の早い品種は出荷規格の草丈32cmを超え、一部は葉焼けの発生がみられている。耐寒性より在圃性が評価されやすい気象条件であったことには留意する。

[留意事項]

[普及対象地域]

県内全域のハウレンソウ生産者

[行政上の措置]

[普及状況]

[成果の概要]

表1 審査結果（入賞品種のみ抜粋）

順位	審査番号	得点			品種名	出品社名
		立毛	収穫物	合計		
1	16	81.9	85.8	167.7	ミノタウロス	住化農業資材（株）
2	14	83.3	83.5	166.8	天下布武	小林種苗（株）
3	18	82.2	81.5	163.7	ダイヤ交配エクストリーム	トキタ種苗（株）
4	6	80.5	82.4	162.9	グリーンアップ	（株）武蔵野種苗園
5	17	78.3	83.2	161.5	シューター	カネコ種苗（株）
6	2	80.8	79.7	160.5	雷電13	ナント種苗（株）
7	19	80.1	79.4	159.5	ライトアップ	（株）武蔵野種苗園

- 注1) 配点は立毛100点、収穫物100点の合計200点満点。出品22点中、合計点の上位7品種が入賞品種である
- 2) 令和4年12月27日播種、5年3月10日審査会を実施
栽植様式は、ベッド幅120cm、条間15cm、株間4cm、6条で、シードテープによる1粒播種とした。10a当たり施肥量 窒素:12.8kg、リン酸:12.8kg、加里:12.8kg。無マルチで栽培した
- 3) 収穫物審査は、6条のうち中央4条の各48cm（4条×12株想定）の範囲を対象とした

表2 出品品種の苗立率

順位	品種名	審査番号	苗立率 (%)			順位	品種名	審査番号	苗立率 (%)		
			反復A	B区	平均				反復A	B区	平均
1	ミノタウロス	16	91	87	89	12		13	97	83	90
2	天下布武	14	94	93	94	13		20	100	99	100
3	ダイヤ交配エクストリーム	18	99	96	97	14		10	91	63	77
4	グリーンアップ	6	90	80	85	15		8	100	99	99
5	シューター	17	97	93	95	16		9	97	97	97
6	雷電13	2	90	82	86	17		3	96	92	94
7	ライトアップ	19	90	78	84	18		5	94	97	96
8		15	81	80	81	19		21	74	72	73
9		22	85	79	82	20		12	97	99	98
10		7	96	90	93	21		4	87	81	84
11		11	87	67	77	22		1	99	96	97

注) 播種後14日後（令和5年1月10日）、100株調査



1位「ミノタウロス」
(住化農業資材(株))

2位「天下布武」
(小林種苗(株))

3位「ダイヤ交配
エクストリーム」
(トキタ種苗(株))

写真1 上位入賞品種の収穫物

表3 入賞品種の生育

審査番号	順位	品種名	1株重		葉数 (枚/株)	最大葉長			葉色 (SPAD値)
			未調製 (g/株)	調製 (g/株)		葉長 (cm)	葉身長 (cm)	葉幅 (cm)	
16	1	ミノタウロス	44.7	41.4	14.5	30.7	12.0	8.3	66.9
14	2	天下布武	43.7	40.3	13.0	31.5	12.0	7.4	66.0
18	3	ダイヤ交配エクストリーム	34.9	32.3	11.4	32.7	10.9	7.2	69.6
6	4	グリーンアップ	42.0	39.2	12.8	31.3	12.2	7.4	64.7
17	5	シューター	37.7	34.8	13.1	29.7	10.9	6.7	65.9
2	6	雷電13	39.8	36.8	12.2	28.8	11.4	8.3	68.6
19	7	ライトアップ	42.1	40.0	12.3	31.6	11.4	7.9	69.3
対照		ピンドン	68.5	63.8	14.9	39.1	13.3	8.8	59.2

注1) 令和5年3月10日、6株調査。対照の「ピンドン」((株)サカタのタネ)は、出品品種と同一管理で栽培した

2) 調製後の1株重は子葉2枚、下葉2枚を除去して計測した

3) SPAD値は最大葉3枚の葉身で1か所ずつ測定した平均値

表4 入賞品種の収量

審査番号	順位	品種名	株数			収量			可販 1株重 (g/株)
			可販 (千株/10a)	規格外 (千株/10a)	合計 (千株/10a)	可販 (kg/10a)	規格外 (kg/10a)	総収量 (kg/10a)	
16	1	ミノタウロス	78.1	0.7	78.8	2,623	1.5	2,624	33.6
14	2	天下布武	69.2	1.5	70.7	2,120	1.5	2,121	30.6
18	3	ダイヤ交配エクストリーム	67.7	10.4	78.1	2,057	39.4	2,096	30.4
6	4	グリーンアップ	61.8	1.5	63.3	2,347	3.0	2,350	38.0
17	5	シューター	71.4	3.0	74.4	2,022	14.1	2,036	28.3
2	6	雷電13	64.0	1.5	65.5	1,877	3.7	1,881	29.3
19	7	ライトアップ	67.7	3.0	70.7	2,068	2.2	2,070	30.5

注1) 令和5年3月10日調査、収穫物審査の全株(中央4条、各48cm)を測定して算出した

2) 規格外は葉長18cm以下の株を対象とした

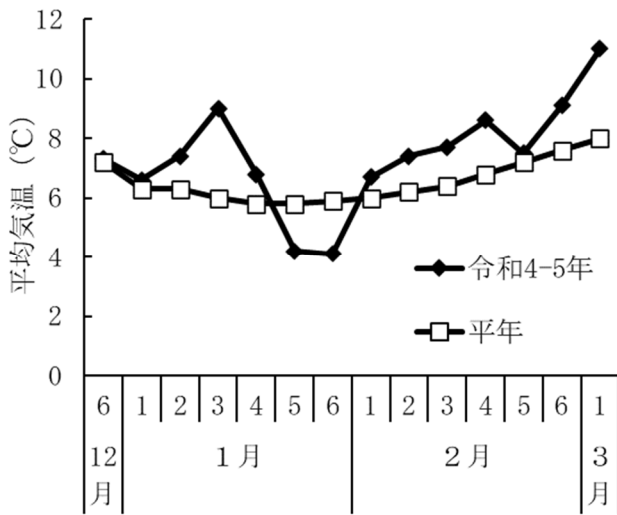


図1 栽培期間中の半旬ごとの平均気温
注) アメダス千葉のデータを用いた

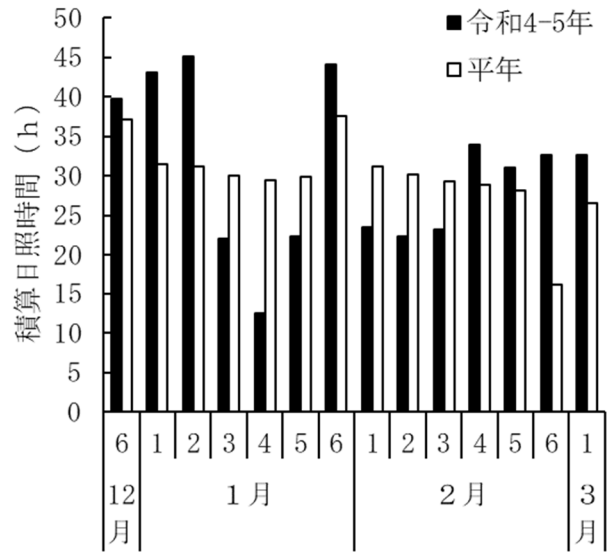


図2 栽培期間中の半旬ごとの積算日照時間
注) アメダス千葉のデータを用いた

[発表及び関連文献]

令和5年度試験研究成果発表会（野菜部門）

[その他]